

★Verda Placo 2020 aŭtuno

みどりのひろば 2020年 秋

N-ro 53

Harima Esperanto-Societo(はりまエスペラント会)



Platikodono (ききょう)

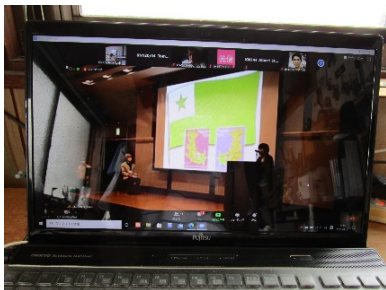
第 107 回日本エスペラント大会に参加?して。

多田龍二

2020 年 9 月 20 日～22 日(祝・火)に名古屋市・ウインクあいち(愛知県産業労働センター)で行われた。当初、2 日間、新幹線で日帰りを計画していましたが、コロナ渦でのこと、スケジュール的にも不安がありました。ネットでの参加方法が改善されてきて、私もネット参加に決めました。Discord か Zoom か迷いましたが、Zoom を選びました。

まず、Zoom をインスツールをする。(デスクトップに保存する)
Zoom をあけて、「ミーティングに参加する」を選ぶ。→会議 ID(ミーティング ID)、KN177(大会参加 N-ro),TadaRyuji(登録名)入れて参加。→ミーティングコード(事前に大会事務局からメールで)を入れると会場に入れます。

実に簡単にパソコン(スマホでも)で大会に参加できます。
“すごい時代がやって来た。世界中どこでも大会があってもみることが出来る。エスペラントは素晴らしい!感激した。”



開会式の模様



KLEG(木元さん) 報告

Lastatempa regula kunveno

中村雅子

最近の姫路学習会について報告します。まず、会場についてですが、本来なら会議室を使用すべきなのですが、コロナウイルス対策として、窓のある広いボランティア室を使用しています。第 2 木曜日は作文、第 4 木曜日はテキスト「Hanako lernas Esperanton」を中心にやっています。作文は各人が身近なでき事や言いたい事をエス文で白板に書き、それについて皆で、こうした方がいいのでは?と添削する形です。

正しい答えはひとつとは限らないし、あっているかどうかは確信が持てないこともあります。まずは考えたり、辞書をひいて調べたりすることが大切だと思います。先日はうれしいことに、久しぶりに山岸さんがこられて手話の視点から、内容をなるべく簡潔に、相手にわかるように表現したらよいのでは、とアドバイスをもらいました。「Hanako……」はだいぶ以前、峰先生の時に途中までやっていましたがその頃はまだ komencanoj だったので 毎回少しずつしか進みませんでした。こんどは もう一度初めから、そして毎回 1 課進む! を目標にやっています。

まずは皆で声を出して読み、それから訳しながら意味や文法を確認していきます。「エクスプレス」を 2 回やった後だし、さすがに以前よりわかるようになってきているなどと思います。

亀のように遅い歩みではありますが、“継続は力なり”を実感しています。

巣ごもり生活

中川幸子

コロナ禍以来、動いたのは エスペラントの学習会・卓球の練習・歴史博物館と姫路文学館の展示会だけです。

毎日することがない?と思いながら 加古川市の広報を見ていて目に付いたのが、「いきいき百歳体操応援隊講座」の記事です。

以前から、友だちに誘われていたのですが、実際にどんな体操なんだろう? くらいの興味しかなかったのですが、この際、申し込んでみました。

「いきいき百歳体操」とは、介護予防を目的とした

高齢者の筋力アップを図る体操です。重さを調節できるおもりを手首や足首に巻き付けて、椅子に座ってゆっくりと体をうごかすことにより、筋力アップを図り、高齢になっても 自立した日常生活をおくれることを目的に行います。今回は 尾上公民館の4回1コースで講義と実技がありました。台風の影響で一回抜けましたが、何とか頑張りました。

次に行くサークルも決めました。 その次に、中止していた「お城めぐり」をおもいだし 先日、行ってきました。

今回は交通の便の良い「和歌山城」に決めました。JR で大体の行き方を聞いて、いざ出発。環状線から和歌山行き(きのくに線)で乗り換えなしの1時間の電車旅。ゆっくり座って通天閣や阿倍野ハルカスを眺めながら・・・和歌山駅へ初の到着。駅からバスで10分でお城です。橋を渡り、大手門から城内へ。天守閣の場所を聞いた人がボランティアの方でした。天守閣を案内して下さることになり、石垣のことや歴史についてくわしく教えていただきました。平山城ながら結構急な坂道を、どんどん登って 三層の天守閣に着きました。階段も広くて安心しました。紅葉の時には綺麗だろうとおもわれる。ステキな庭や茶室も案内してもらい、帰りのバス停で、バスに乗るまで見送って頂き感激。今回は、とても充実した旅でした。はじめての「和歌山」が大好きになりました。

Mia golfo

TADA Ryuji

Golfo estas sporto praktikata subĉiele sur itinero difinita laŭ longo kaj larĝo. Ĝia longo dividiĝas je 18 partoj nomataj "truoj".

La truoj havas malsamajn dimensiojn kaj formojn.

Golfejo parte adaptiĝas al la natura pejzaĝo.

En la angla lingvo la batiloj nomiĝas respektive "iron", "wood", "putter". (parte citita el Vikipedio)

Oni povas uzi batilojn ne pli ol 14.

Mi aĉetis golfilojn por golf-ekzercejo antaŭ ĉirkaŭ 40 jaroj.

Mi amuze ludis golfajn pilkojn kun amikoj. Tiu tempe golfo estis multkosta kaj ludata nur specialaj homoj.

Abrupte, en la 19a de junio 1988 mi devis ludi golfon.

Kaj tamen la membroj estis la estraranoj de mia kompanio.

Sed, ĝis tiam mi ankoraŭ ne ludis golfon en golfejo.

Antaŭe mi volis ludi golfon por lerni la etiketon de golfo.

Mi petis mian amikon ludi kun mi. La 10an de junio 1988

unufoje de mia naskiĝo mi ludis golfon en la golfejo "Toujouko".

Iom post iom mi komencis interesiĝi kaj ĝoji pri golfo.

Sia tempe golfo fariĝis Populara kaj kosto malkrara

La 27an de julio 2012 mi spertis 400fojan golfludon.

Mi ne povas forgesi pliaĝan bofraton. Li estis lerta golfldanto.

Mi lernis golfadon de li. Li estis ekzamena komitatano de

kelkaj golfejoj en urbo Kobe. Bedaŭrinde, li mortis pro kancero

59 jaraĝe.

Lia metodo de ekzercado estis intensa kaj energia.
Li batis 500-1000 pilkojn por ekzercado en ĉiu fojo.
Li estis maldekstrulo. Iam li batis dorse de mia batilo(wood).
La pilko flugis pli longe ol la mia.

Li diris "Nu vi batu ĉirkaŭ 500 pilkojn, ĝis ie de via korpo doloros vin. Refoje batu! Daŭre ĝis vi ne havos doloron.
Mi ne povas fari tielan ekzercadon.

Mi ne povas tro danki lin ne nur pro golfo, sed pro eĉ ĉio.

Mi ankoraŭ ĝuas ludi golfon. La konkurso kun amikoj jam registris 75 fojojn. Ĝuu konkursojn ĉe diversaj golfejoj tri-kvar fojojn jare. Foje mi ludas golfon kun mia pli juna frato.

Li havas handikapon "8" kaj estas sufiĉe pli lerta ol mi.

Foje mi ĝuas ludi golfon kun mia filino kaj ŝia edzo, bopatro kaj filino(mia nepino).

Mi ankaŭ ludis plurajn fojojn eksterlande en Kuala-Lumpuro en Malajzio.

Kiam mi iris al la Goto-Insuloj en Nagasako, pluvis kaj ni estis solaj golfludantoj.

Mi volas ĝui golfon tiel longe kiel mi povas moviĝi.

Mi ludis la 665 fojajn en la septembro 2020.

800 fojoj estas mia espero.



この半年間にあった事

大前知子

昨年(2020年)の12月に中国の武漢市で発生した新型コロナウイルスが世界中に感染拡大し経験したことがない生活を今は試練の時だと思いいつ日々を過ごしています。行事予定がことごとく中止となりました。自粛要請で外食を控え家庭料理が増え、学校・会社はオンライン、テレワークの時代になりました。我が家庭内は3蜜生活になっています。課題の件、私は新聞の4コマ漫画コボちゃんの翻訳を頑張っています。悩みながらも楽しんで挑戦中です。エスペラント語に触れる時間をコロナのお陰かなと思いつながら続けることにしました。

数日前にビル・チャップマンさんの訃報を知り驚きで今も信じられない気持ちです。来姫された時のご夫婦のお姿が目には浮かびます。令和2年も後半分となりました。コロナ終息もまだ先になりそうです。ザメンホフ祭の時期には皆様と再会できる事楽しみにそしてもう少し頑張りましょう。

加古川に住んで50年

馬場祝栄

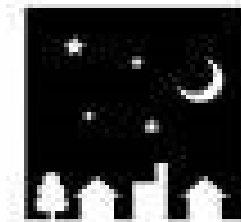
私の主人は神戸製鋼所に勤めています。加古川製鉄所に転勤になりここ加古川に住むようになり、二俣社宅に入居したのは今から50年ほど前です。その頃社宅の周りの田んぼには、蓮華が植えられており一面の蓮華畑が広がっていました。又田植えも苗を一行に横に並んで植えていたのを思い出します。3人の子供がそこで生まれました。まだ、新快速も走ってなくて、その頃私の実家は大阪で里帰りに3時間あまりかかっていました。まだその頃は私の祖母も健在だったので、母は孫の顔を見たくてくるのですが、子ども達が学校から帰ってくると顔を見てすぐそこそこに帰

っていきました。この社宅は、まあ、私の主婦としての勉強の始まりです。同じ年ごろの子供も多かったし皆あそばしながらいろいろお喋りをしていましたね。

そこに5年ほど住んでから今の石守に引っ越してきました。。その頃の石守は周りは田圃ばかりで、あぜ道に彼岸花が沢山咲いていました。(今でも咲いています)私はとてもかわいいと思って摘んで村の人がしているお店に入りました。すると店番していた人とおしゃべりしていた人が私達を見て何かこそこそ話していました。”まあ。あんな花を子供に持たせて、てがくされるのに、、“ なぜか今ヒガンバナをみるたびにそのことを思い出します。子ども達が小学校に入学すると所謂ママ友が出来ますね。その友達に昔からの村の風習、神社の秋祭りの獅子舞いとか見物させてもらいました。今はすたれましたが、夏には近くの公園で盆踊りがあり、又テキやさんがお店をだしていたのも懐かしい思い出です。もちろんその頃はママさんバレーも盛んでした。PTAで学級対抗、地区対抗バレーなどがありました。なんでも参加していましたね。

私は生の舞台を見るのが好きでその頃生の舞台を観劇する親子劇場に入会しました。そこで見た舞台は忘れましたがその時のメンバーとは年賀状だけですが、お付き合いしています。

現在私は老人ホームにカラオケボランティアの人達と行動するのが楽しみです。残念ながら近くにエスペラントを勉強する人がいないのが残念です。以前のように加古川で勉強会が有れば良いのにとおもいます。昔は文化センターでしてましたが、皆が行きやすいカコムで勉強する人いないでしょうか？募集してくださいませんか。



喫茶室・私の園芸人生

稲田正昭

何かの会合で自己紹介をする時、ほとんどの人は自分の趣味を紹介します。私もその一人です。趣味はその人の性格や関心事などを知ることが出来、初対面の人に自分自身を知ってもらう一つ的手段となっています。

私は多趣味ですが若い時からつづいているのは園芸と囲碁ぐらいです。今回は”園芸”について書いてみます。

私が何故花に興味を持ったのかは分かりません。母が、花の手入れをしている私を見てあんたが子供の頃、買い物などで一緒に行くとき、いつも道端に咲いているタンポポやレンゲの花を摘んでいたなあ、今も変わらず花が好きなんやなあーと言っていたことを覚えています。何歳ぐらいの時から覚えていませんが、初めて興味を持って育てたのはチューリップ。道のすぐ傍にある畑に植えました。蕾がふくらみ始めたころ、総て抜き取られたことを覚えています。少しがっかりしました。次に植えたのは白い花を咲かせる高砂ユリ、この花は育て易く育苗年数が増えるのに比例して花の数も増えます。続いてグラジオラスを植えました。育て易いくらでも増やすことができます。多種多様な花を咲かせるダリヤも好きでした。でも球根が増えすぎて大変です。洪水にあい球根が腐ってしまっからは育てるのを控えました。

高校に入学して園芸部に入り、校内の花壇に色んな花を育て楽しんでいました。社会人になって、職場に園芸クラブを結成して予算を頂き花壇に季節の花を咲かせていたこともあります。会社生活を終え、淡路にある園芸学校に妻と一緒に一年間(月二日)通ったこともあります。

園芸を趣味としている人は経験を重ねるに従い、いろんな分野に分かれていきます。例えば、草花・菊・バラ・ラン・サボテン・多肉植物・山草・花木・苔、等々の専門になってゆきます。私は今、ユリ・アマリリス・君子ラン・芍薬・牡丹等々を中心に育てています。花々は私の人生に多くの喜びを与えてくれており、心より感謝しています。 おわり

「陰謀」 星 新一

エス訳 塚本 猛

エスペラントを使う練習で、1975年1月に星新一のショートショート
を翻訳したのを見つけました。

その頃は小文字だけで書いていたので、少し読みにくいかも知れませんが
読んでみてください。

原文は、星新一の「ちぐはぐな部品」にある「陰謀」です。

aŭtoro: Hoŝi Ŝin-iĉi

titolo: Intrigo*

estis unu elefanto en iu zoo. kaj de iam ekloĝis aro da kolomboj
najbare. jen estas kialo. ili povas manĝi sen laboro, se ili nur
kolektas la restaĵojn de l' manĝaĵoj kiujn spektantoj donis al la
elefanto.

vere facila vivado. pasas tago en babiladoj sensencaj. sed je tiom
da tempo, pro enuiĝo en ordinaraj temoj, diskuto marŝis pli kaj
pli al eksceso.

"entute mi malŝatas elefantaĉon" "prave vi diras. la gigantaj estas
malŝatinde arogantaj. ŝajnas lia konduto preskaŭ ignoranta nian
ekziston" la kolomboj fumigis malkontenton. ĝin kaŭzis, ke ili
manĝas la restaĵon de la elefanto, la humiligateco. sed tamen
neniu el ili volis tion rekoni, eĉ tuŝi. ekzistis nenia maniero
trakti tion krom insulti la elefanton.

"nu ni ĉiuj flugataku lin, kaj piku per bekoj! ni sendube venkos
lin, se ni per unuiĝo kaj surprizo!" unu facilanima kriis ekscite,
sed alia detenis lin. "neeble. ni venku lin pli malice, pli lerte"

la kolomboj konsiliĝis. ekzistas nenio pli agrabla ol forĝi planon precipe malbonan. ili ĉiutage forĝadis entuziasme. baldaŭ, atinginte bonegan planon, al la elefanto proksimiĝinte, diris kolombo reprezentanto serioze.

"via granda moŝto elefanto estimata! sola vi povas la reĝo de 1' animaloj" "vi diras? dankon"

"malgraŭ tio, vi kontentiĝas per manĝaĵo donata de homoj. ĉu tio ne indas honti?"

"mi neniam konsideris tion, sed via diro verŝajnas"

"nun estas tempo vekiĝi kaj batali. vi estas pli granda ol homo, pli forta, kaj havas cerbon pli grandan, kaj plue la rostron. vi neniel povas eĉ venkata. vi devas montri la forton realan"

celis la intrigo de kolomboj, ke la bona elefanto furiozu pro ilia afablaĵo, kaj ili mokridu lin spektante mizeran malvenkon de la elefanto. tiam la elefanto estos sub pli granda humiligo ol la kolomboj. sed erareto ekzistis en ilia kalkulo. pli honesta estis la elefanto ol la supozo. la elefanto akceptis serioze la afablaĵon, tiel ke fariĝis klara lia kapo, kaj la korpon plenis forto. li forigis piede la ĉirkaŭaĵon, la barilon, kaj furioze eksteren, urben, kaj komencis rompi ĉion aŭ vidatan aŭ tuŝatan. kaj li neniel ĉesis furiozi ĝis haltigita spiri pafite per kugloj.

sed, ĉiukaze, finiĝis la longaj tagoj de humiligateco por la kolomboj. beninda estis tio mem, tamen la kolomboj nekapablaj vivi aliloke, kie regas batalo por vivo, ĉiuj mortis mizere pro malsato en kelke da tagoj.

例会の記録 Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

<姫路:イーグレ・ボランティア室又は会議室>午後1時半~4時

7月9日(木) 中村、大前、中川

7月30日(木) 中村、大前、中川 馬場

8月27日(木) 中村、大前、中川 馬場

9月10日(木) 中村、大前、中川 山岸

9月24日(木) 中村、大前、中川 馬場

“Hanako lernas Esperanton”, 作文、朗読劇練習、歌

<加古川:生活創造文化センター>例会は休会中、代わりに

Skajpo 学習は毎週水曜日 20時~21時

延べ36名、15時間09分でした。

大半は Babilado です。エスペラントを中心に多岐にわたります。

今後の予定 Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (今後は月2回 第2, 4木曜日を原則として行う。)

10月8, 22日、11月12, 26日、12月10, 24日

★加古川 (しばらくは、休会とします。)

★Skajpo (毎週水曜日 20時~21時)

どなたでも参加してください。(コロナには強い!)

編集後記: 新型コロナウイルスで自粛をしていましたが、10月からぼちぼちと3密と手洗い、マスク、で動けるようになりました。表紙の写真「ききょう」は近所の玄関に咲いていました。花びらが4弁なので珍しくて撮りました。ききょうの花言葉は紫の桔梗が「気品」、白の桔梗が「清楚」だそうです。なんとなくエスペラント気質に似ていませんか?

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro53 2020年 10月20日

発行: はりまエスペラント会 Harima Esperanto-Societo

(671-1222 姫路市網干区宮内106-3 稲田正昭)

編集: 多田龍二 明石市西明石町5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp

